



1.ゆったりとした健診センターのラウンジ 2.広くて使いやすい健診センターのロッカー室 3.健診センターに設けられている託児ルーム 4.病児・病後児保育室を初めて利用する子どもが多いため、保護者からしっかり引継ぎます 5.毎月テーマを決めて健康講座を開催する「あらかわえい」。次回の予定はウェブサイトを確認を 6.インフルエンザシーズンは、病児・病後児保育室の定員が満員になることも 7.訪問看護で行う入浴・シャワーなどの清潔ケア 8.訪問看護師が一人ひとりの状況に合わせてケアをします

information あらかわ医院 〒488-0006 尾張旭市大久手町中松原39 ☎診療・乳幼児健診・予防接種・病児保育/0561-53-9666 ☎各種健診/0561-53-9668 ☎在宅医療/0561-53-9670

家族みんなの健康を支える、身近な存在でありたい



巻頭特集 あらかわ医院 25年目の今とこれから

笑顔が生まれる場所

あらかわ医院が尾張旭市に開院して25年。
内科小児科からスタートして現在は13の診療科を設置し、専門的な検査や治療にも対応しています。また、在宅療養支援診療所や健診センターでは、地域医療の充実にも尽力。
医院の歩みを振り返り、地域医療の今後を展望します。

理事長 **新川正治**さん
昭和46年京都府立医科大学卒。昭和56年社会保険駿河川病院小児科部長。平成元年、済生会京都府病院小児科部長。平成7年あらかわ医院開院、平成11年医療法人あらかわ医院理事長就任



正面入口の前に広がる庭園。院内の待合室からも眺めることができます

尾張旭市に開院25年 多数の診療科を設置

尾張旭市・城山街道の北に位置する、あらかわ医院。緑と白のタイロ造りの特徴的な建物が、住宅地と田園に馴染んでいます。正面入口の前には庭園が広がり、四季折々の自然が来院する人々の目を楽しませてくれます。

新川正治理事長が、あらかわ医院を開院したのは平成7年10月4日。「その場その場で、患者によりよい診療ができるよう対応していたら、診療科や医師の数が増えていきました」と振り返ります。

現在は、小児科、小児アレルギー科、内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、整形外科、リハビリテーション科、小児整形外科、リウマチ科、循環器内科、呼吸器内科、乳腺外科の13の診療科を設置。常勤・非常勤を合わせて40人の医師が在籍し、子どもから高齢者まで、幅広い年代の健康をサポートしています。

70歳を超えた今も、現場で診察にあたる新川理事長。「滅私奉公の気持ちで患者さんと向き合っています」。開院から25年間、その思いが変わることはありません。

小児科医の経験から 母親にやさしい医院へ

平成21年の新築・移転を機に、尾張旭市より委託を受け病児・病後児保育室を開設。諸事情で病気の子どもも在宅療養が難しい場合に、保護者に代わって看護や保育を行います。

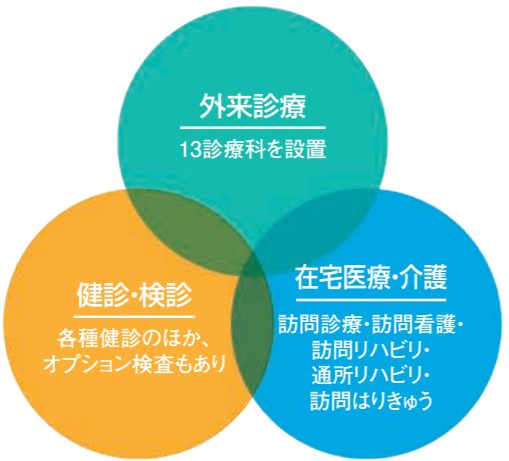
また、新川理事長が小児科医として多くの親子に接するなかで、忙しくて受診できない、幼い子どもがいるのに病気で入院しなければならぬ、そんなお母さんたちを助けたという思いから、乳がん検診や子宮がん検診など女性向けの健診項目を充実させました。健診センター内には無料（要予約）の託児室も設けられています。月に一度のレディースデーは、医師、看護師、スタッフがすべて女性。女性が安心して利用できる、さまざまな配慮がされています。

地域に根差した医療で 幅広い年代をサポート

「今後は、より在宅医療に力を入れたいと思っています」と新川理事長。平成27年5月に在宅療養支援診療所を開設しました。病気や障がいのある人が、自宅でその人らしい生活を送れるように、医師や看護師が定期的に自宅を訪問し、健康管理や看護ケアをします。夜間や日曜・祝日も24時間体制で看護師が相談を受け付け、利用者や家族の大きな安心につながっています。

「訪問看護は、患者さんと深くかわるることができます。いかに寄り添い、いかに安心し

あらかわ医院の主な事業



●病児・病後児保育室 ●無料託児室 ●予防接種 ●あらかわえい



最新型のMRIを導入。従来の装置より撮影時間が短く、磁石による撮影のため被爆がなく、さまざまな撮影が可能です

す。生後2カ月から小学3年生までの子どもが対象。保育士2人が常駐し、体調に合わせて外来診療の看護師や小児科医が対応します。担当の保育士は「保護者からお子さんの体調について細かく聞き、体調の変化を見逃さないよう気を付けています」と話します。仕事を休みにくい保護者にとって、いざというときに頼れる施設です。

平成30年には医院の2階に健診センターを開設。企業・法定・特定健診から脳ドックまで幅広く対応しています。短時間で受診できるのも魅力。尾張旭市・瀬戸市のがん検診8項目（胃、大腸、肺、前立腺、乳がん、子宮、肝炎、HPV）なら、1日で受診が可能です。「忙しいと後回しにしがちですが、症状が現れたときはすでに病気が進んでいる可能性があります。症状がないうちに受診してほしいです」と健康管理課の水野真由さん。「健診後に経過観察を要する場合も、その場で診察の予約ができるので、保険診療への移行がスムーズです」。健診センターと外来診療の連携も、あらかわ医院の強みです。

でもらえるかを大切にしています。住み慣れた地域で自分らしく、家族と一緒に過ごす時間を大切にしたい。ただ「ただです」と訪問看護師の加藤富江さん。また、同じく訪問看護師の酒井里英さんは「訪問看護と訪問診療を一体的に行い、地域医療を充実させたいです」と話してくれました。

新川理事長は、「医師や看護師をはじめ、いいスタッフに恵まれています」と、スタッフへの感謝を忘れません。休日もカルテを読むほど患者のことを第一に考え、地域医療に真摯に向き合うその姿勢こそが、熱心なスタッフが集まる理由ではないでしょうか。開院から10年ほど経ったころ、地域の人に「初心を忘れてはいけませんよ」という言葉をかけられたそうです。「地域の皆さまからいただいている信用を、この先も守り続けたいと思っています」と優しい笑顔を見せてくれました。